

学力向上の取組をICTで効果的・効率的にするアイデア

～「総合的に学力向上を図る学校への支援事業」実践校の取組から～

教員による取組の振り返り

学力向上対策の達成状況に関するチェックリスト等をアンケートフォームにより実施することで、取組の状況が容易に把握することができるようになり、ポイントを絞った改善が可能になります。

外部サイトの資料の活用

「はばたく群馬の指導プランⅡ実践事例サイト」「群馬県ICT活用教育サポートサイト」等、外部サイトを有効活用し、実践のヒントを得ます。

特別な配慮が必要な児童への指導

手書きで入力した文字をテキストデータに変換してくれるアプリ等を活用するなど、特別な配慮が必要な子供たちへの指導がより充実します。

指導と評価の一体化

子供が、端末を活用して、まとめ・振り返りを記録することで、個々の学習状況を客観的・継続的に把握・共有することで、教育課程や学力向上対策の評価資料の一部となります。

教材の共有

デジタル化されている教材は、共通のフォルダに保存し共有します。学習プリントだけでなく、プレゼンテーションのスライドなども共有することで、翌年の教材研究や教材準備などに役立ちます。はじめは板書を撮影し、共有することでも授業改善に役立ちます。

授業検討会

子供たちの学習の様子を画像や映像で記録しておき、授業の中で起こっていた事実とその要因について検討します。付箋紙を使っていた考えの共有もソフトやアプリを使って行うことができます。

確かめ問題・家庭学習

授業中のたしかめ問題や家庭学習、放課後学習の課題をデジタルドリル教材や自主学習型のWEBサービスに置き換えます。印刷や採点の時間が短縮され教材研究の時間などが生まれます。